



日本共産党平戸市議会議員

山崎かずひろの市議会だより

2018年4月

ご意見・ご相談をお知らせください

山崎市議は当選以来、毎回の市議会で一般質問を行い、「山崎かずひろの市議会だより」として配布しています。日本共産党や山崎市議へのご意見・ご相談など、なんでもお寄せください。

なお、山崎市議の「ブログ」「ツイッター」をご覧ください。週2、3回更新しています。

ブログ「平戸日誌」 検索

住所：平戸市岩の上町214-1 ☎・FAX：0950-23-8021 携帯：080-1002-2248 メール：yk1922@wind.ocn.ne.jp

玄海原発

再稼働1週間でトラブル

ただちに運転を停止せよ

黒田市長は「同意権」をもとめよ

3月末、多くの「反対」の声を押し切つて、玄海原発が再稼働されました。国と九電に対して、多くの平戸市民も怒りの声をあげました。

万全を期して再稼働したはずでしたが、1週間で、配管に穴があくというトラブルが発生。平戸市でも、玄海原発への不安と国・九電への不信が大きくなるばかりです。

平戸市議会では、3月議会で、再稼働反対の「決議」をあげました。山崎かずひろ市議も9月12月議会につづき、一般質問の中で、原発問題をとりあげました。

【山崎】フクシマの事故から7年。いまだに収束さえせず、原因も実態も明らかになつていない。それにもかかわ

らず、原発が次々に再稼働されている。国・九電に、怒りの声が上がっている。玄海原発の再稼働も目前に迫っているが、市長はどう考えているのか。

【市長】県内の関係4市で「避難対策に関する要望書」

を国に提出したが、要望に対して国の動きは何もない。反対の立場を撤回することはできない。

【山崎】「同意権」は玄海町と佐賀県に認められている。原発はトラブルなどで停止し、そのたびに再稼働の同意

が求められる。平戸市にとつても重要な権利だ。松浦市などのように、同意権を求めるべきではないか。

【市長】平戸市には「同意する」「同意しない」の判断をする専門的な知見がないから、同意権を求めない。

日本原子力発電、周辺5市に「同意権」を認める

3月末、日本原子力発電は、水戸市や日立市など周辺5市と安全協定を締結。東海第2原発（茨城県東海村）の再稼働の

際は県・東海村に加え、周辺5市の同意を得る、という内容です。フクシマ事故後、電力各社

は立地自治体と県の同意を得たうえで再稼働をすすめてきました。周辺自治体の同意も得る、という合意は全国で初めてです。

山崎市議の指摘で、避難計画を改善

原発事故の避難計画は、国が責任を放棄して、自治体に丸投げしています。自治体だけで、避難計画をつくることは不可能です。

しかし、自治体として「できること」はやらなければなりません。山崎市議の指摘で、「バスによる避難計画」の具体化がすすみました。

【山崎】30キロ圏の福岡県糸島市では、避難のためにバスが何台必要かを想定し、バス会社と協定を結んでいる。ただ、バス会社の運転手は、30

キロ地点までしか来ない。30キロ圏の内側は、市の職員が運転することになる。糸島市は、職員にバスの運転免許証を取らせている。

昨年、このことを紹介し、平戸市の現状を質問したが、必要なバスの台数さえ、検討していない、という答弁だった。改善はされたのか。

【総務部長】原発事故の際、空間放射線量が一定値20μSv以上になった場合には、1週間程度以内に避難を実施することになっている。

平戸市では、46人乗りのバス、のべ82台で5日間かけて対象住民を輸送する試算をした。

玄海原発

